

STEERING GEAR SERVICE NEWS

DATE : 2011/9/27

No.: E8-11-001A

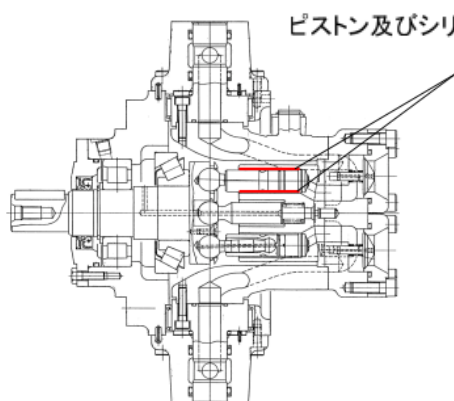
SUBJECT : 油圧ポンプ 整備インターバルについて

舵取機に使用している油圧ポンプには摺動部材が使用されており、摩耗限度を超えて使用した場合、効率が低下し、最悪はポンプの破損に繋がる恐れがある為、定期的に整備を実施する必要があります。

1、対象油圧ポンプ型式 : LV-030, LV-060, LV-090, LV-120, LV-180, LV-260, LV-500

2、摺動部品の摩耗限度について

- ・対象部位 : ピストン外径及びシリンダ内径の隙間
- ・各型式油圧ポンプのピストン及びシリンダ間摺動部標準隙間及び推奨交換隙間



ピストン及びシリンダ間摺動部

ポンプサイズ	標準すき間	摩耗限度	(単位:mm)
LV-030	0.024	0.050	
LV-060	0.030	0.060	
LV-090	0.033	0.070	
LV-120	0.037	0.080	
LV-180	0.042	0.090	
LV-260	0.048	0.100	
LV-500	0.060	0.120	

- 油圧ポンプ定期整備時の寸法計測結果から、ポンプ型式サイズでバラつきはありますが、使用約 5～10 年で摩耗限度の近似値となります。
- この隙間の摩耗が進行して偏摩耗となった場合、ポンプ破損に繋がる可能性があります。また、シール部品も経年劣化し、油漏れ等トラブルの原因となる為、5～7 年毎の当社サービス員による開放整備を推奨します。
- 摩耗の状況は作動油の清浄度・使用環境・使用条件により大きく変化する為、定期的な作動油の点検を推奨します。
- 小型舵取機に使用している油圧ポンプ型式 : LVP017 についてはピストン及びシリンダが現合での隙間管理で製造・組立されています。よって、それぞれの部品を交換できないため 5～7 年毎の当社サービス員による完成品交換を推奨します。

KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES, LTD.
PRECISION MACHINERY BUSINESS DEVISION
CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT